

## お家でやってみよう！（幼稚園児向け）

○絵本を見たり、読んだりしよう。

★お家にある絵本を見たり、読んだりしよう！お家の人がいたら読んでもらうものいいね。

ポイント！

（文字が読める場合は・・・）

『この本、読んでほしいな』

と、子どもが読むのを聞いてあげるのもいいですよ。聞いた後は、自分が思ったことや感じたことを伝えてあげてください。

（文字が読めない場合は・・・）

文字が読めなくても、子どもたちは絵で絵本を読んでいます。

じっくり絵本に見入っているときは、そっと見守り、その後で

『どんなお話だった？』と聞いてみてください。

『あのね・・・』と話し始めたら、しっかりと話を聴いてあげてください。

『それからどうなったの？』など、対話を引き出すような声をかけてあげてください。言葉の習得は、文字を読むことだけではありません。言葉で相手に伝えるということも大切なことです。

○図鑑でいろいろなものを調べてみよう。

★散歩に出かけた時などに見つけた、虫や花を図鑑で探してみよう。図鑑を見て、これまでに見たことがあるものを探してみるのもいいね。

ポイント！

（例えば、ちょうちょ）

図鑑を見ると、ちょうちょも、いろいろなちょうちょがいることに気づきます。

「どのちょうちょだったかな」などと声をかけながら、一緒に見てあげてください。

そして、

「どんな、ちょうちょだった？」「どんな色だったかな？」「どんな模様だったかな？」

と、一緒に考えながら対話を通して楽しくそのちょうちょの特徴を見つけることができますよ。また、「今度はこのちょうちょを見つけてみたいな」という思いにつながることもあります。そのような経験が、注意深くものごとを見る目を育てます。

★家で飼っている犬や近所のお家で飼っている犬など、身近な生き物の種類を図鑑で探してみるのもいいね。

## ○いろいろな絵を描いてみよう。

- ★お家の人や家で飼っている動物の絵を描いてみるものもいいね。
- ★ペンやクレパス、色鉛筆で、絵に色を塗るものいいね。

(絵が描きたいのだけど、自分の描きたい絵が描けない時は・・・)

ポイント!

「何が描きたいの?」と、子どもに聞き、絵を描いてあげて、色塗りを楽しめるようにするものいいですよ。「ここは何色なの?」など対話をしながら、取り組めるようにすると、色への関心も高まります。

そして、できあがったらみんなから見るところに飾ってあげてください。楽しく描いた絵は宝物です。見るだけで楽しい気持ちを引き出します。

- ★絵本や図鑑を見ながら、描いてみるのもいいね。

## ○体を動かして遊んでみよう。

- ★両足でジャンプしてみよう! 何回できるかな?
- ★片足で跳んでみよう! 何回できるかな?
- ★片足で、両手を広げて立ってみよう! どれだけ長く続けられるかな?

お家の人と競ってみることも、より意欲を引き立てます。

ポイント!

(注意) いつも、お家の人勝ち! というのは、だめですよ。時には、わざと負けてあげてください。自信をもって、もっと多く・・・もっと長く・・・と挑戦し始めます。そのタイミングで、1~2回差をつけて勝つことも効果的です。そのぐらいの差であれば、今度はもう少し頑張って勝つぞ! と意欲がわいてきます。

- ★いろいろなところを跳んでスキップをしてみよう!
- ★新聞紙を広げて真ん中に穴をあけ、お家の人にその新聞紙を持ってもらい、穴の中に新聞紙をまるめて作ったボールを投げてみよう! 入るかな?

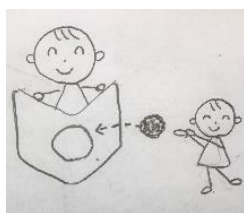
ポイント!

「どうしたら新聞紙の真ん中に穴をあけられるかな?」

と、子どもに投げかけて考える機会をつくりましょう。最初から上手くできないかもしれませんが、上手くできなくてもいいんです。

「あれ、上手くできなかったね。どうしてだろう? どうしたらよかったのかな?」

と、もう一度考える機会をつくります。上手くできなかったらすぐに



大人がしてしまうのではなく、困る機会を作ることも大切です。困ったら解決に向けて考える力をつけることが大切です。

★広げた新聞紙の上に立ち、お家の人とじゃんけんをして、負けたら半分に新聞紙を折っていきこう！どんどん狭くなるけど立っていられるかな？

★ビニール袋に空気を入れてくくり、ボールにして上にポンポン打とう！落としちゃだめだよ。

★縄跳びに挑戦しよう。

1. 床や地面に縄を置いて、踏まないように10回両足をそろえて

跳びこえられるかな？できれば、10回よりも多く跳んでみよう。

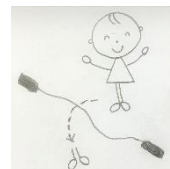
2. 床や地面に縄を半分の長さにしてVの形にして置き、縄を踏まないように両足をグー（閉じる）・パー（開く）・グー・パーと10回跳べるかな？できれば、10回よりも多く跳んでみよう。

3. お家の人がいいたら2人縄跳びに挑戦してみよう！

4. 一人で挑戦するものいいね！跳べるかな？

★ボールを何回つくことができるか挑戦してみよう？

★ボールを上に向けてキャッチしてみよう！お家の人がいいたら、お家の人投げたボールをキャッチしてみるのもいいね。



ポイント！

できないことから始めるのではなく、できそうなことから始めるということが大切です。縄跳びは、跳ぶものという概念にとらわれず、いろいろな方法で遊んでみてください。子どもが「できた」という思いをたくさん感じられるようにしましょう。

## ○お家の人と一緒に遊ぼう。

★囲碁ゲームで遊ぼう！

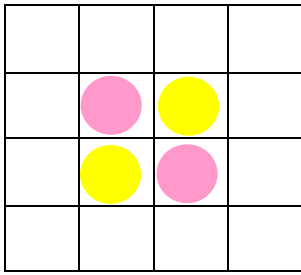
（準備物）

- 升目を書いた紙
- 2つの色の丸く切った紙等



（遊び方 1）

1. 誰がどの色にするかを決めます。
2. じゃんけんをして、順番を決めます。
3. 勝った人から自分の色を1つずつ交互に出し、相手のコマをはさめたら、はさまれた相手のコマをもらいます。
4. たくさんコマをとれた人が勝ちです。



### (遊び方 2)

1. 誰がどの色にするかを決めます。
2. じゃんけんをして、順番を決めます。
3. 自分の色のコマを図のように中央に斜めに2つ置きます。
4. 勝った人から自分の色を1つずつ交互に出し、相手のコマをはさめたら、はさまれた相手のコマを自分の色に変えます。
5. 全部の升目にコマを置いたとき、自分の色のコマが多い方が勝ちです。

### ポイント!

折り紙を使って、こま作りから始めるものいいですよ。既成の玩具にとらわれず自分で遊ぶものを作ることができるということに気づきます。自分で遊びを作り出す楽しさに気づかせてあげてください。そして、その遊びを一緒に楽しんであげましょう。

### ★家の外に出て、びかびか泥団子を作ってみよう!

(準備物)

- よく乾いた土、水
- ビニール袋、磨く布



### ポイント!

上記の泥だんごを見せ「これ何だと思う?」という投げかけから子どもの関心を泥だんごに向けましょう。

子どもの思ったことをしっかりと聞いてあげてください。「チョコレート」などの声が聞かれるかもしれませんね。そのようなときは、「そうだね、チョコレートみたいだね」と、子どもの思いを否定せずに受け入れてあげてください。次に、「実はね・・・泥でできているんだって」と、びっくりさせることで関心が高まります。

そこで、「でも、色が違うね。どうしてかな？」と投げかけてみてください。

「土の色が違うのかな？」という返答があったら、「土の色って違うの？」「外に行ってみようか」と声をかけ、いろいろなところの土をみることから初めてみましょう。

そして、この土で作ってみようという土が見つかったらいざ、泥だんご作りの始まりです。

- ① 乾いた土に水を少しずつかけて柔らかくし、両手を使い、力を加減して丸い団子を作ります。



ポイント！

水を混ぜるのも、子どもにさせてあげてください。水を入れすぎてどろどろになってしまうかもしれません。それでもいいんです。そのどろどろの土を握ってみて、上手く形にならない体験をすることが大切です。そこで一言「なんだかどろどろで、握りにくそうだね」と子どもの様子を言葉にしてみてください。「はっ！」と、子どもの気づきにつながることでしょう。もしも、その時点で気づきにつながらなかったとしても大丈夫。「もう一回、最初からやってみようか」と、声をかけてあげてください。上手くいかなかったら、何回でもやってみたらいいのです。繰り返しの中で気づきが生まれます。

- ② でこぼこしたところの土を少しずつ指で削ってさらに丸くします。



ポイント！

最初は、力加減ができず何度も壊してしまうこともあると思います。壊れたら、作り直すという作業があまり続くと、嫌になってきてしまいます。その時には、最初、ある程度のところまで形を整え、渡してあげてください。少し、見通しをもって取り組めるので、またやる気を持ち直すことができます。

- ③ 団子に乾いた土をかけて手の平で優しくなでます。何回も繰り返します。そして、タオルで磨きます。



- ④ 続きにするときは、お日さまの当たらないところを見つけ、ビニール袋に入れてタオルの上に置きます。



あきらめずに続ける  
とこんなにぴかぴか  
団子ができるよ！



- ⑤ 続きをするときは、③からの動作を繰り返します。

○おうちの人と相談して、花の苗や野菜の苗を育ててみよう。



★苗を育てるには、水をあげないといけないよ。

★毎日、水をあげながら様子を見てみよう。何か変わったことを発見できるかもしれないよ。

★変わったことを見つけたらお家の人にも教えてあげようね。

## ○お手伝いをしよう。

★洗濯物をたたんでみよう。まずは、タオルをたたもう。できたらTシャツにも挑戦してみよう！

★ご飯を食べるとき、家族のみんなのお箸やスプーンを準備しよう。

★お家の人と一緒に、家の周りの草抜きをしよう。

★お家で飼っている生き物の世話をしよう。餌やりや、散歩もいいね。

## ○天気の良い日には、春を感じに、お家の人と散歩に出かけてみよう。

(出かけるときの、注意事項)

- できるだけマスクをして出かけましょう。
- 人の集まっているところは避けて出かけましょう。
- 家に戻ったら、石鹸でよく手洗いをして、きれいなタオルで手をしっかりふきましょう。

ポイント！

散歩に出かける前に、「今日は、いろいろな花を見つけてみよう」など、目的をもって出かけてみましょう。より身近な自然に関心を向けることができます。

★いろいろな花が咲いているよ。見つけてみよう！

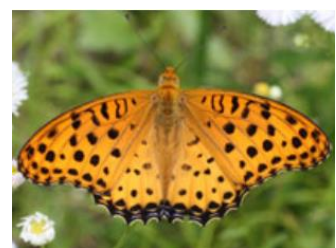


★つつじは、いろいろな色の花が咲くよ。違う色の花をたくさん見つけられるかな？



★いろいろな生き物もいるよ。見つけてみよう！

(注意！) 虫の中には、刺したり、触るとかぶれるものもいるので、すぐに触らずに  
お家の人に確認したり、大丈夫かわからない時は、見るだけにしておこう！



はちの中には、刺すものがたくさんいます。  
触ったり、捕まえたり  
しないでね！